香美町命



第93号

平成24年12月27日発行

編集·発行 🏖 社会福祉法人 香 美 町 社 会 福 祉 協 議 会

〒669-6545 香美町香住区森31-1 香美町香住地域福祉センター内 TEL 0796-39-2050 TEL 0796-36-2758 FAX 0796-39-2150 ホームページアドレス http://www.kami-shakyo.org/



Ojiro 歩 牛 会 (小代区)

Oiiro歩牛会は、平成24年度、赤い羽根共同募金配分金事業の「地域づくり人づくり 応援助成事業」より助成して頂き、こども用ノルディックポールを購入させて頂きました。 10月25日(木)に、そのポールを使い、ゆるキャラとこども達のノルディックウォ 一ク体験会を行いました。今後も体験会などを開催して、こどもからお年寄りまで幅広 く普及させていき、町民全体の健康促進につながるような活動をしていきたいと思いま すので、よろしくお願いします。

(((今月の主な内容)))

第2回小地域福祉活動研修会2~3	デイサービス、グループホーム …6
地域とともにすすめる福祉学習4	けいじばん7
、除雪ボランティア演習5	成人式振袖予約会のご案内8





「人」が力をあわせると「絆」が生まれる。 絆」は普段の生活の延長線上で育まれ、 安心して暮らせるまち」をつくっていく。

集落での防災・福祉活動を活発化することを目的に 0 困りごとを把握し、 みを学びました。 説明を行いました。7月からは、 ・民生委員の他に、 6 今回開催した第2回小地域福祉活動研修会は、 「資源マップ」は11月に全戸配布し、「ささえあい要援護者マッ ざす地域福祉の推進方法(見守り活動やいきいきサロンから 月の 防災マップの更新作業を行うことができました。修正され 第 1 見守りや災害時に役立つようにと所有範囲を、 回目 福祉・防災マップを有効活用していただき、 0 スムーズに福祉サービスにつない 小 地域福祉活動研修会では、 福祉委員長と民生協力員にも拡大しました。 各集落で修正個所の点検をし 社会福 平成24年の仕上 先進地の取 祉協 従来の区 くこと



写真やスライドで大水害の様子を 説明されました。(小代区)

た。 福祉 において、第2回目の12月9日(日)「いこい 318名の方が参加されまし 去る12 福祉センター」で、 (月)「香住文化会館」 活動研修会を開催し延べ 月 1 日 第2回目の小地域 12 月 3 、 の 里 村岡 で、



躍の 活用し 講演をいただきました。 て豊かな郷づくり」と題して 心をつなぎ、ともに行動し 地 西村充春氏をお招きし 域 豊岡市下陰区の区長で 福祉・ 防災会会長としてご活 た福祉委員会活動です。 福祉の推進強化 防災マップ」を 策の

域の いことを分かりやすく話され の力によってしか成り立たな 力と継続が大きな力になるこ 生き方をすること。 にはお互いが思いやりのある まれるものであり、 は普段の生活の延長線上で生 を写真を通して紹介され、地 西村さんは、大水害の 地区の安心・安全は住民 「絆」の大切さとその絆 そのため 地道な努 現状

参加者の皆さん(香住区)

取り組みと活動紹介

岡市

下陰区から学ほう

下陰区が目指すもの

人と人との関わり無しでは 自分の地区を自慢出 住んでい 育てましょう。 住み易い地域にしましょう。 のにしましょう。 無為な人生となります。人 希望の種をまき育てること。 いきまし 為に動ける誇りと自信 よう。 る地域の中で夢や

一来るも

夢や希望は人を育て根付か せます。そんな地区にして

材 制 度

を導入 皆さんに得意分野での活動 を活かしてもらうシステム

防 335 活 動 が

- 災害図 Ŀ 訓
- 地域の情報共
- 要援護者安否確認と対応
- 避難訓練 要援護者支援訓練 (けが人搬送)等

減災 救援には、 共助 公助の取組が必要 自助

家族で緊急時の話合いをする

助(個人にできる災害対策)

- ○家族で避難場所を確認する
- ○助け合いのネットワークを作っておく
- 家屋の危険箇所をチェックし、対策をする
- 家具の転倒防止をする
- 非常持ち出し品の整備と点検を定期的に行う
- ○災害伝言ダイヤル171を使えるようにしておく
- ○地域の情報や知識をしっかりつかんでおく

助(みんなでたすけあう)

- ○助かった命の中から、お互いを支え合う活動にうつす気持ち を持つ
- リーダーさんの行動力を高める
- ○災害発生後の被災者の把握と対応をする
- ◎行政等の公助までの助け合い、支え合いができるようにする
- ○地域力と人間力(普段の関わり)を高める

助(行政の支援活動)

- ・生活基盤の整備復旧、 等の復興 支援物資の搬入・情報提供 医療支援
- まとめ役により地域内の情報を収集し、 行い復興へのリーダーシップをとる人が必要 必要な要請を的確に

各公共施設にも 資源マップを配布

5

美

町

の

5

がありました。 プ」を届けて欲しいとの意見 内の公共施設にも「資源マッ 参加者の質問の中に香美町

なっている、 作成し、災害時の避難場所と 設184か所にお届けする予 ◆福祉・防災マップA2判 各集落の公共施

災害時の安心と安全のために マップを配布

とを想定し、 きるよう、 平常時の見守り活動に を配布しました。 力委員にも「要援護者マップ」 12月より福祉委員長と民生協 児童委員に連絡がとれないこ 護者マップ」を有効に活用 福祉委員会を円滑に進め、 区長、民生委員 補完するために、 ! 「要援

取 個 人情報の保護のために り ガイドラインを作成 組 み

そして、 見することが出来ます。 来ることを目的としています。 かされるような有効活用が出 動や平常時の見守り活動に生 ガイドラインを定め、 ことが重要です。そのために ありますが、 活動に関わる人が知る必要が 護者の登録に関するデータは で集落内の困りごとも早く発 者等)に漏れないようにする る上で要援護者マップや要援 集落での見守り活動を進 情報を共有すること 第三者(販売業

情報管理全般に留意する事

- ●マップ・登録一覧は複写を しません
- 情報を持ち歩きません
- 自宅での保管場所を決めて おきます
-)転出・死亡により不要にな った申請書は破棄します

域 とともにすすめ 福 祉学習

5 祉学習を考える~

組 7 ま 口 香 グ て、 11 れ 美 ま ラ る 町 福 社 先 ムづ 会福 生 祉 くり を対象に 習 祉 を学 協議 を 円 会では V 滑 福 に 地 進 祉学習を考えるつどい」 域ととも 8 る 町 た 内 8 0 に 小 進 • め れ 中 る か 福 髙 5 等学校 祉 0 を 福 毎 習 祉 を で 年 習 開 目 取 的 催 0 1)

0 藤 本 原 年 -度 も 12 報告や参加 隆 宏氏 を講 月 6 L 師 日 た当 (木)、 事 当 者 関 事 0 者 西 お を招 大学修学支援 話を聞きました。 11 7 福祉学習 コ] を デ 行 1 ネ つ タ

の 取 H 組

視覚障害当 が を交えて で あ あ <u>о</u> Ġ 塚 り 小 (まし 学校 口 生 グラ 0 から、 事 た。 学習 者 4 年 0 4 今岡 総合: 0 \mathcal{O} 生 様 紹 担 岡廣之さ 子 介 的 任 ルや、 な学 0) 0 生

えなくてはならな 体験 助 容先生 ر ح 害 体 岡さんがパソコンを 者 験 で た。 が は ょ は 多い 暮 ŋ は その一 細 友達 5 今 と思っ Ū か な情 岡 \mathcal{O} 4 同 方 中 ことに さ 士 です で、 7 で 報 W 出 を伝 \bigcirc 17 た 視 気 介 来

授業の内容

身の回りにある誰もが暮らしやすい

・学校内にどんな工夫がされている

視覚障害者のための暮らしやすい工

夫を見つけよう ・点字がどこに使われているのか

・音声案内や信号機の工夫

・『福祉』の意味を学ぶ

・児童同士で介助の練習

今岡さん(当事者)との交流

工夫を見つけよう

アイマスク体験

身近な点字

・点字を打ってみる

・日常生活の様子

学校内を案内

点字学習

П

第

第

のかを見つける

自 を 17 こなす姿や 転 分 す る姿に子どもたち か たちと同じことが L た 1) ,瞬間 障害者 でし へ の モニ 意識 力 で は کے き 鷩 演 き 奏

さ と分 れ ま 1 た。

第6 これまでの福祉学習の発表 ・自分たちの学びを次年度学習する 3年生に伝える ŧ) ろ を あ るか たち な 関 講 人 て考えら 心 師 な کے 0 人 出 藤 向 11 会っ か け 原 る さ に W

の立場

での 今岡 見えない 視野が徐々に狭くなる難 のことを知ら /を紹介 いつも使 t た。 色素変性症」 ħ 今岡さんは \mathcal{O} 16 ば 視覚障害 福 らうには 体験をしてもらったり 中 さ 年 と訴えました。 -に異常 祉学 7 授業では、 h 17 前 力したり 中で普 は、 け つ いるかを話 に てい 習 目 な な色 者 れ 光 0 11 「本当は 」と診 たくな しまし 、る音声 段どの を感知 参 لح 誰 0 不調を感じ 児童 思 現状 素 加 か 断 が が L L 15 たり する B を 11 ように 3 沈 7 11 病 、ソコ 学 着 知 目 九 5 け 障 校 れ 害 た が ま

17

ていくことが大切です。 人が自然 れるように が大きく、 てい は、 は る経 分 無関 0 11 育て ろ 験



す

▲ 実践報告を熱心に聴く先生方

害者が 害を てい 障害が とい な人 きたと思う」と話されまし り す 存 7 11 につながると改 在 つ 。 の 声 0 · う、 なくすことが けること、 障 で :暮ら うことは、 ついて子どもたちに あ 1 はなく、 害 学校 かけや関 う X 地 しやす ても ージを持てること、 域 で暮らす具体 で 子どもたち 地域で暮ら 0 11 今岡 結果的に う 取組 8 できること、 わりで、 11 ,地域、 こて 確 抽 3 を通 象 W 的 認 障 \$ 的

雪に備えて

では、 雪ボランティア演習を行いま 実感がわかない中、 に行うことができるよう、除 ボランティア活動がスムーズ 11 月 28 豪雪時における除雪の 目 雪が降るという 村岡支所

どを話し合いました。 皆さんの協力を得て、ボラン れを確認しながら、改善点な での除雪まで一連の活動の流 ティアの受け入れから、 今回は、 村岡区作山集落の 現地

> ね、 れについて、今後も検討を重 誰にも分かりやすく、丁寧か ないなど、職員だけでは気付 達方法や、 しながら進めていきます。 なぐことを再確認しました。 かない点に気付くこともでき、 てもボランティアには伝わら つ迅速に、要望と活動者をつ 除雪ボランティアの受け入 依頼者と活動者の意思の伝 集落、 行政、社協が連 専門用語を使われ



除雪ボランティア活動の流れ

②ボランティア受付 ①集落からの活動依頼

③活動の説明

オリエンテーション

④現地での活動

交流会が開催されました。 体育館で第19 ており、 くり教室」とも共同開催され この交流会は「しめ飾りづ 12月2日(日)、 地域のみなさんがふ 回余部地区福祉 余部小学校

地区の高齢者からしめ縄づく り上げていました。 齢に応じたかわいい飾りを作 で熱心に縄をなっていき、年 りを教わりました。小さな手 お父さんやお母さんと一緒に 最初に幼稚園児や小学生が

がら体験を行いました。 ことに困るのか、どんなお手 協職員が講師となり、 伝いができるのかなど考えな 目や足が不自由だと、どんな 体験とアイマスク体験を実施 その後、 福祉交流会では社 車いす

> 具の使い方を実践すると、「な おられる参加者の姿も。 るほど」と感心しながら見て の展示説明も行い、 また、 余部地区では、 福祉用具や介護用 児童と地 職員が用 域

域の福祉や余部小学校の福祉 も行っており、 活動に役立てられています。 品や持ち寄り品の福祉バザー の皆さんとが協力し、手作 その収益は地 'n

考えようと毎年行われていま 自分たちにできる福祉活動を

福祉体験などを通して、

つながりを深めると



真剣な表情でしめ縄をなう小学生

ビスセ

族 岡 中 10 た。 0) \mathcal{O} 月 但 方 17 27 日 ほほえみ』 馬 名に参 (土)、 大仏と猿 加 0 尾 をい P 利用 かな秋晴 滝 ただい 者とその 出 て け れ

馬牛 綺 用 た。 -を食べ 加者 麗な景色と 日と違う方と話や交流ができ つ たりとし か ら た行行 屋 「デ 様 食 1 کے に 程 秋 サ おの を満 中(ジ ビ L ス 喫 紅 11 但 \mathcal{O} 葉

7 てくださいました。 思 出ができました」



笑顔で ハイポーズ!!

司での昼食と、

楽し

4

時間を過ごす事

しい声かけ しょにバスの とは違う、

をし

ていただい

たり

口

中

お寺の散策を通

少

し馴

染み

O

な

方

々

できました。

これからも、

極

的

に地

て活動したいと思います。

ありがたいお話しを聞きました

ることで、 八美浜の た。 どうですか、 たようで、 ムにとっては地域の H 頃、 南 プホー 垣の老人会より「ぶらり、 地域との対 自切 喜んで参加させてい ム「かがやき」 不動尊· この交流が少ないグループホとお誘いをいただきました。 0 交流が少ないグル 住民とし 方々との交流が出来 如意寺の 0) 入居者の 小旅 ただきま 行 \bigcirc 方

インフルエンザは普通の風邪とは違います。

- ・急速な38度以上の発熱、咳やのどの痛み
- ・全身の倦怠感や関節の痛みなどの全身症状
- ・肺炎や脳症を起こす事があります。

具合の悪い時はマスクをして早めに医療機関を 受診しましょう。

元気に冬を過ごしましょう

☆手洗い・うがい

- ・外出後は石鹸で15秒以上流水で洗い流しま しょう。
- ・タオルの共用は避けましょう。アルコール製 剤での手指衛生も効果的です。

☆休息と栄養

- ・バランスの良い食事を心がけましょう。
- ・十分な睡眠をとって体力と抵抗力をつけまし よう。

・湿度50%~60%

☆咳エチケットを守る

- 咳やくしゃみをするときは、他の人から顔を そらしティッシュなどで口・鼻を覆いましょう。
- ・咳・くしゃみを抑えた手は石鹸であらいまし よう。
- ・咳・くしゃみがある間はマスクをしましょう。 (村岡デイサービス提供)



四层人

各種相談は町内どこでも受けられ ます。本所、各支所にお気軽にご 相談ください。

※秘密は厳守します。

※相談はいずれも無料です。

お問い合わせ先	本 所	村岡支所	小代支所
	TEL 0796-39-2050	TEL 0796-98-1000	TEL 0796-97-2202
心配ごと相談	とき: 1 月23日(水) 13:30〜16:00 ところ:香住老人福祉 センター	とき: 1 月30日(水) 13:30〜16:00 ところ:村岡老人福祉 センター	とき: 1 月 9 日(水) 13:30~16:00 ところ:いこいの里
結婚相談	とき: 1 月24日(木) 13:30〜16:00 ところ:香住老人福祉 センター	とき: 1 月10日(木) 9:30〜12:00 ところ:村岡老人福祉 センター	とき: 1 月17日(木) 13:30〜16:00 ところ:いこいの里
弁護士相談 ※要予約(1人30分)	とき: 1 月15日(火) 13:00~16:00 ところ:香住老人福祉センター 担当者:谷垣竹夫弁護士	とき: 1 月25日(金) 13:00~16:00 ところ:村岡老人福祉センター 担当者:生駒和雄弁護士	

村長熊高味 **無返** 岡板波津取 高橋 田岸 石 澤 渕 脇 玲子 義隆 正則 正美

岡

観華流煎茶道香住支部

福祉の志 茶道裏千家淡交会香住支部

お詫びと訂正 11月に全戸配布し

味長村

取板岡

山藤居村

たじま農協 村岡支店

宿

こ意向により掲載しています

複していました。又、岡安生様のお名前が重段目、小代区新屋の古の中で、9ページの2 秋岡の姫 治博文様に訂 「賛助会員ご加入のお礼」 した社協だより第92 治将文様を 正をし、 姫

一余訓香浦若大沖 下 沖 余 川住 市部谷住 上 松 部 谷 岡 浦 浦 谷里 駒居 濱田 藤澤 渡辺 山 濱田 上 福田 木村 岩城 富三雄 孝弘 まゑ 義人 武嗣 秀興 鈴枝 杏奈 敏晴 秀明 好樹

預託は社協の地域福祉活動 に使わせていただきます。 ○お名前は、預託者本人の ありがとうございました。 皆様からのあたたかいご 938,927円

村岡支所

岡

預託金合計 大貫石

一典返. 谷 田 寺 小 井林 口 八恒昭郎 雄宏

福祉の志 八鹿町小山 小 支

香典返.

(平成24年11月1日~30日)(預託順・敬称略)

行だより

但馬南コープ委員会

本 住浦松浦住住

一務店

古切手・ベルマーク・はが、11月分(預託順・敬称略) に皆様をご紹介します。 ベルマーク・はがき・テ

p切手等の収集にご協力いただい

レホンカード

松森貴美子 松井 勝彦 橘法務行政書士 白鳩書房 似西山工務店 株但馬銀行 士事務所 香住支店

香沖若沖香

方にご協力頂きました。その他にも、匿名で名 ありがとうございました。 匿名で多くの

こぶし 康

小代支所

和

 \mathbb{H}

宿

黒田社会保険労務士事務所

美由紀 工務店 敦子

神長日村

水須影

上田中西大田野村村西



250%



平成25年1月19日(土)~20日(日)

9:00~18:00

香住老人福祉センター

(香住区香住1281-1)

ブライダルショップ"ドリーム"

TEL·FAX 0796-36-2800

● 案内図



と葬具貸出事業)を行ってに収益事業(衣裳貸出事業生活改善と福祉増進を目的

香美町社会福祉協議会では

と葬具貸出事業)を行っ

います。

質の高

貸

出

多くの方にご利用 い品物をより安く

いただけるよう努力してい

○貸衣裳事業の収益は全て、香美町社会福祉協議会の地域福祉事業に使わせていただきます。

衣裳の返却について

衣裳の貸出期間

を延長する事も可能 3 日~5日間ですが 事前にご相談ください で す 期

最寄りの支所へ返却いただ小代区の方につきましては、行っていませんが、村岡区・ の衣裳については、 お届けいたします。その他 婚礼衣裳 (花婿・花嫁衣裳) ついては、 町内外問わず 配達を